

4. 合同研修後期

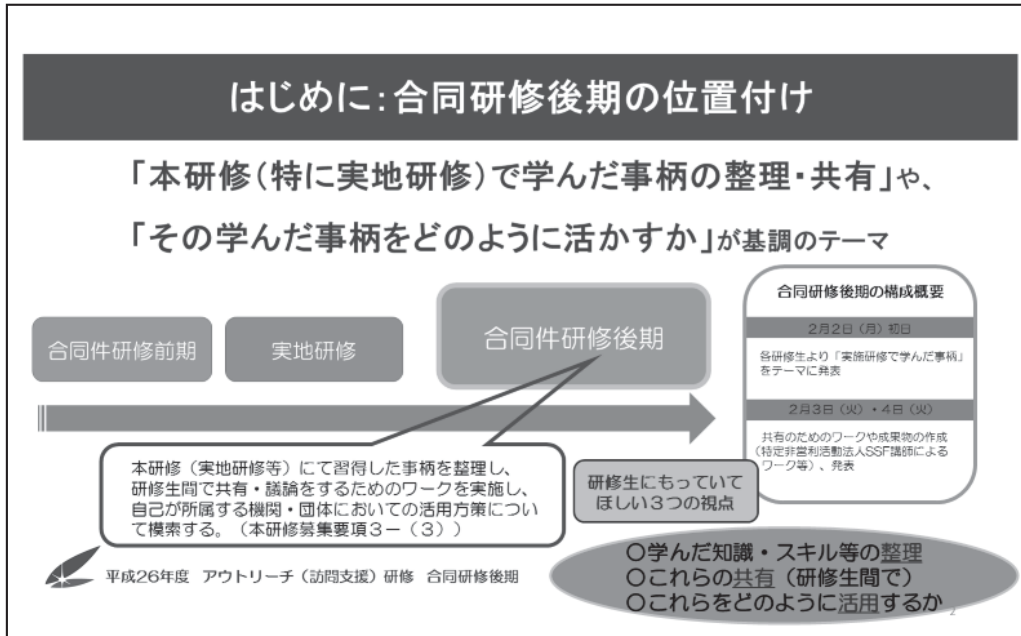
- ・ 期間：平成 27 年 2 月 2 日（月）～4 日（水）（2 泊 3 日）
- ・ 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

図表 7（合同研修後期／研修日程一覧）

平成26年度 アウトリーチ（訪問支援）研修＜合同研修後期＞ 日程表	
於：国立オリンピック記念青少年総合センター/センター棟	
平成27年 2月2日（月）	
13:30～	開会の辞（内閣府青少年支援担当）
13:40 ～ 18:00	各研修生より研修報告（本研修から学び得られた事柄） 研修生 20 名発表（8 分程度） ※適宜小休憩等
18:00～ 18:30～	事務連絡 ※意見交換会
2月3日（火）	
9:30 ～ 12:30 演習①	班別演習①（実地研修の省察と研修成果共有を図るグループワーク）
13:30 ～ 18:00 演習②	班別演習②（実地研修の省察と研修成果共有を図るグループワーク） ファシリテーター：特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス 代表理事 谷口 仁史 氏
18:00～	事務連絡
2月4日（水）	
9:30 ～ 12:30 演習③	班別発表（演習③） （実地研修の省察と研修成果共有を図るグループワーク） 各班ごとに発表
12:30～	閉会の辞（内閣府青少年支援担当）

合同研修後期では、合同研修前期と実地研修を受講し、所定の課題を提出した研修生 20 名を対象に実施した。研修内容の位置付け・方向性は、大きく以下の2つである。

- ①研修を通じて学んだ事柄の整理と共有
- ②本研修を総括した実践的な成果物の作成



1日目には、各研修生より実地研修の報告を行った。各自実地研修終了後にパワーポイントで作成した「実地研修で学んだ事柄」をテーマとした報告資料を用いての発表であった。

参考(3)

2月2日(月)13:30~18:00

各研修生より、
「実施研修から学び得られた事柄」をテーマに発表

- ひとり8分(質疑応答含む)×20名
- 進行・発表順については次ページ

☑ポイント
受入団体の活動紹介をはじめ、「学び得られた事柄」や具体的な「エピソード」などについても触れてください。

平成26年度 アウトリーチ(訪問支援)研修 合同研修後期

平成26年度
アウトリーチ(訪問支援)研修<合同研修後期> 日程表

※：国立オリンピック記念青少年総合センター/セ

平成27年 2月2日(月)	
13:30~	開会の辞(内閣府青少年支援担当)
13:40 ~ 18:00	各研修生より研修報告(本研修から学び得られた事柄) 研修生20名発表(8分程度) ※演習小休憩等
18:00~ 18:30~	最終演習 お疲れ感謝
2月3日(火)	
9:30 ~ 12:30 演習①	個別演習①(演習講師の畜産と研修成果共有を促すグループワーク)
13:30 ~ 18:00 演習②	個別演習②(演習講師の畜産と研修成果共有を促すグループワーク)
18:00~	コッパリナーター: 特定非営利活動法人 NPOスチュアデント・サポート・フェイス 最終演習
2月4日(水)	
9:30 ~ 12:30 演習③	個別発表(演習③) (演習講師の畜産と研修成果共有を促すグループワーク)
12:30~	最終発表 開会の辞(内閣府青少年支援担当)

※各自の終了時刻、個別演習の経緯については、講師の方と調整中

2日目は、上記の方向性に基づき、以下4つにテーマごとに意見出しを行い、アウトリーチにおける重点事項の整理を行う演習を実施した。

班別演習①では、意見として出された事項を文章化し、「アウトリーチ・ガイドブック」としてまとめ成果物を作成した。「アウトリーチ・ガイドブック」の内容については「本研修の成果となる「アウトリーチ・ガイドブック」と今後の課題」に記載する。

テーマ①	<p>「当事者（及び保護者等）への啓発活動（情報発信）、組織体制・事業運営」</p> <p>当事者（及び保護者）に向けた支援情報等の啓発活動や、アウトリーチに関する組織体制・事業運営、地域の関係機関に対するアウトリーチ理解のための情報発信など。</p>
テーマ②	<p>「アウトリーチ支援が必要とされる当事者の特性や、見立て・アセスメントの留意点」</p> <p>アウトリーチで関わる当事者（及び保護者）の特性や、アウトリーチ導入段階の情報収集・情報整理、当事者の見立て・アセスメントにおけるポイントや留意点など。</p>
テーマ③	<p>「アウトリーチにおける留意点や、当事者（及び保護者）とのコミュニケーション」</p> <p>家庭等へアウトリーチを行う場合の留意点や、当事者（及び保護者）との関係性構築・コミュニケーションのポイント、当事者の生活改善、家庭の環境改善など。</p>
テーマ④	<p>「当事者を円滑にリファー・誘導するために求められる関係機関との連携、連絡調整」</p> <p>アウトリーチから他機関へのリファー・誘導を想定した連携や、関係機関との連絡調整、地域の関係機関・社会資源の活用策など。</p>

また、班別演習①の構成内容は以下スライドの通りである。

2月3日(火) 9:30~12:30
班別演習①(実地研修の省察と研修成果共有を図るグループワーク)

「アウトリーチ(訪問支援)ガイドブック」
作成のためのワーク「手引き」「入門書」「読本」などー
ポイントを押さえた手軽に読めるものをイメージ

アウトリーチの支援を行うための「アウトリーチ(訪問支援)・ガイドブック(以下、ガイドブック)」作成を目指したワークを通じて、

- 知識・スキル、実地研修成果等の整理・共有を図る
- 各研修生の所属機関・団体内等で共有できるツールを作成する

平成26年度 アウトリーチ(訪問支援)研修 色原研習班編

2月3日(火) 9:30~12:30
班別演習①(実地研修の省察と研修成果共有を図るグループワーク)

ワークの概要

■4つのテーマを設定(左記参照)
■5名~6名×4班(4テーマ)

左記の枠内に記載した内容は、あくまで例示となります。柔軟に反えていただき、「必要とされる事項」や「ポイント・コツ」なども、ガイドブック事項に含めてください。

平成26年度 アウトリーチ(訪問支援)研修 色原研習班編

テーマA	<p>「当事者（及び保護者等）への啓発活動（情報発信）、組織体制・事業運営」</p> <p>当事者（及び保護者）に向けた支援情報等の啓発活動や、アウトリーチに関する組織体制・事業運営、地域の関係機関に対するアウトリーチ理解のための情報発信など。</p>
テーマB	<p>「アウトリーチ支援が必要とされる当事者の特性や、見立て・アセスメントの留意点」</p> <p>アウトリーチで関わる当事者（及び保護者）の特性や、アウトリーチ導入段階の情報収集・情報整理、当事者の見立て・アセスメントにおけるポイントや留意点など。</p>
テーマC	<p>「アウトリーチにおける留意点や、当事者（及び保護者）とのコミュニケーション」</p> <p>家庭等へアウトリーチを行う場合の留意点や、当事者（及び保護者）との関係性構築・コミュニケーションのポイント、当事者の生活改善、家庭の環境改善など。</p>
テーマD	<p>「当事者を円滑にリファー・誘導するために求められる関係機関との連携、連絡調整」</p> <p>アウトリーチから他機関へのリファー・誘導を想定した連携や、関係機関との連絡調整、地域の関係機関・社会資源の活用策など。</p>